

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年9月6日 (2012.9.6)

【公表番号】特表2011-530315(P2011-530315A)

【公表日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2011-051

【出願番号】特願2011-521639(P2011-521639)

【国際特許分類】

A 6 1 M 1/12 (2006.01)

F 0 4 D 13/06 (2006.01)

A 6 1 M 1/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 1/12

F 0 4 D 13/06 C

F 0 4 D 13/06 H

A 6 1 M 1/10 5 3 5

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月23日 (2012.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトの心臓の心室 (113) への植込みに適した心臓補助装置であって、

(a) 半径方向インペラ手段 (109) と該インペラ手段を駆動するロータ (119) とを内部に有するハウジングを備えるポンプであって、前記ロータおよび前記インペラ手段は、いずれも前記ハウジング内に流体力学的に浮上されるように配置されており、前記ポンプは、前記ロータを駆動するステータ (121) をさらに含む、ポンプと、

(b) 前記心室の壁をまたぐために前記心室 (112) の内部から延在するように配置された入口カニューレ部分 (111) であって、前記ステータは、前記装置が使用されているときに前記心室の前記内部に設置されるように前記入口カニューレ部分の内部にある、入口カニューレ部分と、

(c) 前記インペラ手段によって駆動される血液の出口 (103) であって、該出口は、前記入口カニューレ部分と実質的に直交しており、前記出口および前記インペラ手段は、前記装置が使用されているときに前記心臓の外にあるように配置されている、出口と、を備え、

前記インペラ手段は、複数のインペラブレードと当該インペラブレード用のシュラウド手段とを備え、

前記シュラウド手段は、前記インペラブレードの交互の偶数番目に対する一連の交互の前シュラウド (117) と、前記インペラブレードの交互の奇数番目に対する交互の後シュラウド (118) とを備え、

各前記ブレードは、前記シュラウドそれぞれの交互の 1 つによって隣接するブレードに接続されている装置。